第 41 回 日本産業技術教育学会東海支部大会
令和 5 年 12 月 9 日（土），オンライン開催
研究発表会プログラム

第１室

1a［教育方法／教材開発・専門領域］9:30～10:45　　座長：藤井道彦（静岡大・教育）

1. 紙製 4 足受動歩行模型の模型形状による歩行運動の変化に関する研究
静岡大・教育 松永泰弘，〇奥原滉太（学生）

2. ゲーム形式でエネルギー問題を考える授業の開発
三重大・教育 〇辻哲也（学生），松岡守

3. 中学校技術科における系統的な AI 技術の指導過程の提案
静岡大・教育　〇小杉聡一（院生），室伏春樹

4. 高等学校情報のモデル化とシミューレーションの学習を目的とした電力スポット市場取引システムの開発 I
静岡大・教育 〇改正清広

5. 野球練習時における画像認識を用いたミート判定装置の提案
静岡大・教育 〇森優太（学生），室伏春樹

1b［教育方法／教材開発・専門領域］11:00～12:15　　座長：改正清広（静岡大・教育）

6. ルーローの三角形を中心とした転がりを探究する理数探究教材の開発
静岡大・教育 松永泰弘，〇久保宗士朗（学生）

7. 群制御技術を含む計測・制御カリキュラムの提案
静岡大・教育 〇宇野颯真（学生），室伏春樹

8. 技術・家庭科技術分野の学びに関するアンケート調査とそれを踏まえた個別最適な授業の検討
三重大・教育 〇小林夕葵（学生），松岡守

9. 教材用ソレノイドエンジンカーの開発
静岡大・教育 松永泰弘，〇杉山龍（学生）

10. 黒板消しロボットの研究
静岡大・教育 〇高安優太（学生），紅林秀治

第２室

2a［教育実践／教材開発・専門領域］9:30～10:45　　座長：紅林秀治（静岡大・教育）

11. 小型規格材を用いた自由設計教材の開発
静岡大・教育 〇杉澤千花（学生），鄭基浩

12. 体系的なプログラミング教育実践カリキュラムの作成に向けた検討
静岡大・教育 〇室伏春樹

13. 小・中学校のものづくり教育において絵本の読み聞かせを活用した授業の提案
三重大・教育 〇前田愛恵（学生），魚住明生

14. 現実事象と数学的抽象化を往還する数学的活動「塩山」の探究深化と高校数学の授業実践による検証
静岡大・教育 〇松永泰弘，静岡中央高校 松永元輝

15. フリースクールにおける不登校児童・生徒を対象としたものづくり体験活動の提案

三重大・教育 ○鈴木陽菜（学生），魚住明生

2b［教材開発・専門領域］11:00～12:15　　座長：魚住明生（三重大・教育）

---

16. 材質による音響特性の変化を体験的に学ぶことのできるスピーカ教材の開発-本教材を用いた授業実践について-

静岡大・教育 ○伊藤大智（院生），鄭基浩，静岡・籠上中 仲嶺春平

17. パイプ移動ロボットの研究

静岡大・教育 ○増田泰杜（学生），紅林秀治

18. 電動モビリティを題材としたエネルギー変換の技術における導入教材の提案

三重大・教育 ○土谷明匡（教職大学院生），中西康雅

19. 技能学習における生徒が獲得する暗黙知の表出方法と教育効果の検証

愛教大・静大共同大学院博士課程 ○樋口大輔（院生），静岡大・教育 紅林秀治

20. 木製曲げわっぱ教材の開発 -落下試験による耐衝撃性能の検証-

静岡大・教育 ○細田灯（学生），伊藤大智（院生），鄭基浩

ポスター会場

3　［ポスター］13:55～14:25

---

21. 全方向移動型倒立振子教材の開発

静岡大・教育 ○脇谷至恩（院生），紅林秀治

22. ネットワーク通信の仕組みを教える教材に関する研究

静岡大・教育 ○竹澤興亮（院生），紅林秀治

23. 4 段階の灌水量によるミニトマトの収穫量と品質に関する教材化

静岡大・教育 ○今春歩夢（学生），藤井道彦

24. アサガオによる品種及び施肥の違いに着目した緑のカーテンの教材化について

静岡大・教育　○山内文斗（学生），藤井道彦

25. 折り紙における手指の関節の動きの分析

静岡大・教育　○紅林秀治，びわこリハビリテーション専門職大学 山田久夫

26. モデル製作を取り入れたものづくり教材の開発

岐阜大・教育 ○古山智基，岐阜県教委 淀川雅夫，岐阜大・教育 福岡大輔

27. 階段を昇降しながら掃除するロボットの製作に関する研究

静岡大・教育 ○瀬尾正勝（学生），紅林秀治

28. 1 人 1 台端末で利用可能な生体長計測アプリケーションの開発

静岡大・教育 ○遠藤真希（学生），室伏春樹

29. 社会に開かれた教育課程に向けた学校施設の鍵管理システム教材の開発

静岡大・教育 ○舘山尚史（学生），室伏春樹

30. 有機質肥料と化学肥料によるオクラ栽培の教材化に関する研究

静岡大・教育 ○若松寛樹（学生），藤井道彦

31. ミニトマトとエダマメの混植による収穫量と品質に関する教材開発の試み

静岡大・教育 ○竹ノ内翔（学生），藤井道彦

32. 水上掃除ロボットの開発に関する研究

静岡大・教育 ○鈴木萌花（学生），紅林秀治

33. 『冒険～今までにない自分を求めて～』をテーマとしたロボット製作合宿での実践と評価

三重大・教育　荒川裕亮（学生），小川一花（学生），○柴田悠生（学生），前田篤志（学生），魚住明生

全体スケジュール

	9:30～10:45	11:00～12:15	昼休み	13:15～13:45	13:55～14:25
第１室	教育方法／教材開発・専門領域	教育方法／教材開発・専門領域	理事会	総会	
第２室	教育実践／教材開発・専門領域	教材開発・専門領域			
ポスター	ポスター集（配付）				コアタイム

第 41 回東海支部大会の概要

■口述発表について

- 会議ソフト「oVice」のバーチャル空間上で，口述セッションを行います．
- 発表者は，各自 PC 内のプレゼンテーション（例：PowerPoint）を画面共有して，口頭発表を行います（あらかじめプレゼンテーションファイルを，主催者側に提出する必要はありません）．
- プレゼン(画面共有)＋マイク音声が基本となります．
- 発表者は，自分が発表するセッションの５分前に oVice 上の発表会場にご参集ください．通信テストを行います．
- １演題の発表時間は１５分（発表１２分＋質疑３分）とします．

■ポスター発表について

- 会議ソフト「oVice」のバーチャル空間上で，ポスターセッションを行います．
- ポスター発表者は，A3 縦サイズのポスター原稿１枚（PDF または PowerPoint）をあらかじめ作成し，１２月６日（水）17 時までに，東海支部 Web サイトのフォームよりご提出ください．提出いただくポスターは，「ポスター集」(PDF 形式，パスワード付，印刷不可）として編纂し，大会当日に参加者全員に，オンライン配布いたします．
- ポスターのフォーマットは自由としますが，ポスター上部には「タイトル」と「発表者」を必ず記載してください．
- 発表者は，大会当日のポスターコアタイム（13:55～14:25）には，oVice 上の各演題のポスターブースにて，ブース訪問者に対して，ポスター集の資料をもとにした対話や補足資料提示などを行います．

■会議ソフト：oVice について【参考】

・会議ソフト「oVice」の使い方については，以下のサイトをご覧ください．

【基本操作の説明】

https://www.youtube.com/watch?v=C8r02gYDA50

※大会詳細と oVice の使い方は，東海支部大会サイト(http://www.jste.jp/tokai/meeting.html)にて，情報を随時更新しています．東海支部大会のサイトをご確認ください．